

# 「ハードカーテン」取扱いについて

この度は、ハードカーテンのご購入をいただき、誠にありがとうございます。  
末永く、安全にご利用いただくために、本説明書をよく読んでからご使用ください。

## 重要

### ●組立・設置前に必ずご確認ください。

スクリーンパネルの高さおよび長さの違いにより、製品重量が異なります。

設置および使用にあたっては、安全に使用していただくため、下記の確認事項について、あらかじめ確認してください。

#### <確認事項>

1. 210cm以上の長さのスクリーンは、スクリーンパネルの高さ及び長さによって、直線で使用可能な長さが異なります。あらかじめご確認ください。
2. 壁付けタイプで使用するポールの固定については、取り付ける壁の強度によって、取付位置やオプションパーツの利用等の考慮が必要です。あらかじめご確認ください。
3. スクリーンパネルの長さはサイズオーダーを承っております。パネルの高さ及び長さによって、安全に使用するためにアクセサリーの追加や使用方法等のご提案をさせていただきます。

### ●組立・設置にあたって必ずご確認ください。

1. ハードカーテンの組立・設置は、手順に従って正しく行ってください。スクリーンパネルを壁や床に設置する際、壁や床の材質にあった取付け用ネジまたはボルトを準備する必要があります。
2. モバイルモジュールにスクリーンパネルを取り付ける際は、正しい設置方向であることを確認してください。
3. 必ず屋内でご使用ください。
4. ハードカーテンは、屋内の凹凸がない平らで水平なフローリングの上で使用されるよう設計されています。  
水平でない床での使用は、危険であり、製品の品質を保証することができません。
5. 熱源など火気の近くに設置しないでください。火災の原因となります。
6. 冷暖房器具、加湿器など風や霧が直接あたらないように設置してください。変形、変色、劣化等の原因になります。

### ●ご使用にあたって必ずご確認ください。

1. スクリーン開閉時、またはモバイルモジュールによる移動を行う時以外では、必ずキャスターをロック（ブレーキ）することを忘れないでください。故障や事故の原因となります。
2. モバイルモジュールによる移動は、スクリーンパネルを必ず折りたたみスクリーンロープで固定し、モバイルモジュールのスクリーンポールを持って移動してください。
2. 故障や事故を防ぐため、下記のような行為をしないでください。
  - ① ハードカーテンによりかかる、乗る、ぶら下がるなどの行為。
  - ② ハードカーテンに物を立て掛ける、引っかける、または突く、衝撃を与えるなどの行為。
  - ③ スクリーンキャスターを蹴る、側面方向から力を加えるなどの行為。
  - ④ モバイルモジュール使用時、開いたスクリーン側を持ち、引っばって移動する行為。
  - ⑤ ハードカーテンを持ち上げたり、傾けたりする行為。
3. スクリーンの開閉は、静かに行ってください。またモバイルモジュールに取り付けたスクリーンの開閉方向および収納する位置が不適切な場合、転倒の危険があります。十分に確認して使用してください。

## ●一般的な使用方法(図1参照)

ハードカーテンは、空間の間仕切りシステムです。器材や装置などに立て掛けて使用したり、器材などを覆うために使用しないでください。故障や事故の原因となります。

間仕切りのために、折り畳まれたスクリーンパネルを広げ、ハードカーテンの位置を決めたなら、全てのスクリーンキャスターロック（ブレーキ）を必ずかけてください。また、もし、コーナー（角）を作るなら、コーナーにあたるスクリーンキャスターのロック（ブレーキ）をかけることを特に忘れないでください。

そして、ハードカーテンを動かす前、または広げる前には、必ず全てのスクリーンキャスターロック（ブレーキ）が解除されていることを確認してください。



**注意！**ハードカーテンシステムは、MRI の設置された部屋で使用しないでください。



**注意！**ハードカーテン近くに位置するベッドの高さを上げる時、ベッドの一部がスクリーンパネルに引っかかっているか確認してください。引っ掛かりに気づかずにベッドを上げてしまうと、故障や事故の原因となります。

またハードカーテン近くに医療機器や設置家具がある場合、いずれかを移動する場合であっても引っ掛かり等がないよう確認が必要です。故障や事故の可能性がります。

## ●モバイルタイプの使用方法(図1参照)

スクリーンパネルを広げる前に、モバイルモジュールのキャスターのロック（ブレーキ）がかかっていることを確認してください。そして、スクリーンキャスターのロック（ブレーキ）は解除されていることを確認してください。

モバイルタイプの場合、移動は慎重に行ってください。乱暴に移動させると、誰かの足にぶつかったり、器材にぶつかったりするかもしれません。特に、凹凸（段差）のある床を移動するときは慎重に両手でハードカーテンを支えながら移動してください。

また、モバイルモジュールベースに乗ったり、もたれかかっていると、故障や事故の原因となるので、危険です。

<図1：折り畳んだスクリーンを広げる>



1. スクリーンロープを外し、全てのスクリーンキャスターロック（ブレーキ）を解除する。



2. スクリーンパネルを静かに広げる。
3. エンドパネルのスクリーンキャスターブレーキ（ロック）をかける。

※スクリーンキャスター全てのブレーキをかけることで、スクリーンの位置をより安定して固定することができます。

**③ キャスターロックを忘れずに**

スクリーンを広げた後、必ずロック（ブレーキ）の状況を確認し、予期しない状況やタイミングでスクリーンが動いてしまったり、ハードカーテンの本体全て（モバイルモジュールとスクリーンパネル）が勝手に動いてしまうことがないように確認してください。故障や事故の原因となります。

広げたスクリーンを折り畳むときは、全てのスクリーンキャスターのロックを解除し、静かに折り畳み、スクリーンロープでスクリーンをまとめます。

## ●設置場所の変更

モバイルモジュールを使用した場合、ハードカーテンは、設置場所を簡単に自由に変更することができます。

まず、スクリーンパネルを折り畳み、スクリーンロープでまとめます。

その後、モバイルモジュールのキャスターロック（ブレーキ）を解除します。

スクリーンポールを持ち、スクリーンパネルを支えながらハードカーテンを移動します。好きな位置に移動したら、モバイルモジュールのキャスターロック（ブレーキ）をかけます。

ロックがかかっていない状態で設置・保管されていた場合、故障や事故の原因となります。

## ●定期点検(少なくとも6か月ごと)

ハードカーテンは、以下の通りに定期的に点検確認してください。

1. 壁据え付けパーツ（スペーサーを含む）が壁に確実に固定されているか
2. すべての接続部（ナットやネジ）に緩みがないか
3. スクリーンパネルがスクリーンポールに正しく取り付けられているか  
（上部のトップフック固定、下部のスクリーン受け部の確認）
4. キャスターが良い状態であるか（ゴミなどが引っかかっていたり、破損がないか、ロックの ON/OFF が適切かつスムーズか）
5. 全体的に不具合や破損がないか、スクリーンパネルおよびアクセサリーのすべての点検（外観点検及び、開閉・移動の動作確認）



**注意！**点検の結果、破損、変形、ぐらつきなどの不具合が確認された場合は、使用を中止してください。

## ●清掃と感染管理

週に1度、または必要に応じて、スクリーンパネル及びキャスターをよく絞った布で水拭きしてください。アルコール系消毒剤、中性洗剤などを使用することもできます。ただし、直接水をかけたり、研磨剤を使用したクリーナーを使用した清掃は避けてください。

院内のICPプロトコルに基づいた濃度の塩素系消毒剤等で拭き取った場合、消毒剤が残らないよう、よく水拭きしてください。

またキャスターを清掃する際にハードカーテンを持ち上げたり、傾けたりしないでください。故障や事故の原因となります。



**注意！**スチーム洗浄機やベッド洗浄機のような蒸気や大量の水分を使用した洗浄方法は、スクリーンパネルを傷めますので、避けてください。

# ハードカーテン保証書

この保証書は、製造上の欠陥に対して本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

## 記

- 1、保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、製品本体を対象といたします。
- 2、万一故障した場合は、お買い上げ店もしくは下記保証履行者あてにお申し出ください。
- 3、保証期間中でありましても、次の場合は有料となります。
  - ① 取扱説明書によらない誤った使用方法、不適切な組立てによる故障又は破損。
  - ② 製品の移動・輸送・落下・衝撃、または外部からの要因による故障又は損傷。
  - ③ 維持管理を誤って行った場合。
  - ④ 火災、天災、地変等による故障、その他の不可抗力による故障。
  - ⑤ 製品に改造・修理を加えた場合。使用場所が変更された場合。
  - ⑥ 使用に伴い発生する摩耗、経年変化、汚れ、キズ。
  - ⑦ 自然の消耗、摩滅、変色、破損。
  - ⑧ 遠隔地に出張修理を行う場合に要する実費。
  - ⑨ 本保証書を紛失された場合。
  - ⑩ 本保証書の提示がない場合。
- 4、商品に瑕疵がなく、通常のご使用中に発生した床・壁等周辺物の直接又は間接の傷及び汚損等につきましては、一切の責任を負いかねます。
- 5、本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 6、本保証は、日本国内において有効です。

モデル		ご購入日	年 月 日
お客様お名前		お客様お電話	
お客様ご住所			
販売店 氏名／住所		保証期間	お買い上げ日より1年間
販売店電話			

保証履行者  
輸入発売元  
**株式会社医療福祉研究所**  
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 2-37-7  
Tel 03-5855-3450 Fax 03-5855-3451

保証責任者  
製造元  
**Bek Teknik Enerji Tic Ltd. Sti**